



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ
東北こそだてレター (被災地の今...)

2014/01/21 配信 vol.17

～年頭のご挨拶と「まんまる」の活動状況についてご報告～

◆ 支援実績 (2013/12/31 現在)

<支援母子数>

- ・2013年12月計 790組
- ・プロジェクト開始より累計 10,390組 (2012/7～2013/12)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亶理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

育児相談会／茶話会／ベビーマッサージ／ベビ体操／
ママのリフレッシュ体操／親子ピクス／仮設巡回訪問

みなさま、こんにちは。
一般社団法人ジェスペールです。

2014年も明けましたね。災害や大きな事件がない年であることを願ってやみません。

さて、今回は、ジェスペール代表の宗より、年頭のご挨拶と岩手県内を広い範囲にわたって活動している「まんまる」のご紹介をします。

まんまるの本拠地は内陸部にある岩手県花巻市。そこから、岩手県の被災沿岸部を母子支援のため定期的に訪問しています。

最も遠いのは、「あまちゃん」でお茶の間に知らない人がいなくなった久慈市。花巻市と久慈市の往復がどれくらい大変かは・・・宗のご挨拶をどうぞご覧ください。

このたいへんな移動のためスケジュールをやりくりし、少しの悪天候でも沿岸部に訪問することを2年半以上続けている「まんまる」メンバーの母子支援へかける志を感じてください。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ 年頭のご挨拶 (ジェスペール代表 宗祥子)

あけましておめでとうございます。

今年は震災から間もなく4年目を迎えようとしていますが、被災地で子育てをしているお母さんたちを取り巻く環境は決して改善しているとは言えません。

こそだてシップの代表伊藤怜子助産師からの報告では、大船渡市、陸前高田市だけでもまだ8,000人近い方々が仮設住宅でお正月を迎えなければならなかったそうです。被災地域の沿岸部では、津波に流された土地に草が生え、冬は雪が降り積もっていますが、住宅の建設の進行は遅々としてなかなか進まないのが現状です。

私たち(社)ジェスペールは、昨年に引き続き今年も、被災地で母子支援を実施している数々の助産師たちの支援グループを、ファンドレイジングや広報活動を行うことで支援していく所存です。

特に今年は、岩手県の北部沿岸部を支援している助産師グループ「まんまる」をご紹介します、引き続き支援を行っていくことをお伝えしたいと思います。



「まんまる」は、花巻市で「いずみ助産院」を開業している佐藤美代子さんが中心のグループです。2011 年から被災沿岸部の各地域を回りお母さんたちが集まる場を提供し、相談に乗ったり、ママ友を作るきっかけ作りを行っています。ジェスペールはこの活動の継続のため、活動費の一部を企業からの助成金を得て支給しています。

年末にジェスペールあてに届きました、「まんまる」からのお礼状をご紹介します。

以下 本文を掲載いたします。

ジェスペール様

震災後の 2011 年 10 月からスタートした、私達の活動「まんまる」は、3 年目に入りました。この 2 年間、岩手県の妊産婦さん、子育て中のお母さんたちを支援する活動を支えてくださって、本当にありがとうございました。震災から 2 年半が経ち支援の手も少なくなっている中で、こうして岩手を忘れずに支援しつづけてくださる皆様の存在に助けられ、ここまで活動してこれたことができました。改めて感謝申し上げます。

「まんまる」では月に 1 度、花巻市のいずみ助産院で、「沿岸ママ&グランマお茶会」を復興支援団体の「ゆいっこ」と共催で続けています。また偶数月には釜石市で「釜石まんまるサロン」、奇数月には沿岸からの避難者・移住者の多い遠野市で「遠野まんまるサロン」を開催し、その他にも久慈市・宮古市でも不定期ですが「まんまるサロン」を開催しています。大槌町へは子育て支援センターのサポートに通い、今後は「大槌まんまるサロン」へ移行する予定です。これまでお会いした母子は述べ 442 組になります。

震災から 2 年半経った今でも、復興からはまだ遠いと感じる日々です。知らない土地での子育てや妊娠出産、時間が経って落ち着いてきたからこそ出てきた心の傷、定まらない住居、仕事の事、夫婦や親との関係……。ハンドマッサージをしながら、お茶を飲みながらポツリポツリとようやく口を開いて話してくれるようになりました。

子育てへの支援が後回しにされる中、母親同士が集まり、同じぐらいの月齢の子どもたちと周りを気にせず遊ばせられるサロンは参加者の皆さんの貴重なリラクスの場となっています。被災者のほかにも現地のママたちも集うことで、地域の情報交換の場、ママ友作りの場にもなり、移住地域に溶け込むきっかけになっています。

現在は現地のママの中からサポートスタッフを募り、ママ主体のサロンへの模索をし始めています。地域によってママたちの力がついてきたと感じる場所、まだまだと感じる場所の差が大きいと感じています。

今後もつながりを大切にママたちが地域でつながって子育てができるよう、サポートを続けていきたいと思っています。これからも末永い支援をよろしく願いいたします。

2013 年 12 月
佐藤 美代子
八重樫 重子
千田 優子
八重樫 優美

以上原文のまま。

「まんまる」が支援している地域は広範囲に及び、支援先までの道のりの多くは、山越えの一般道であり、運転の負担は大変なものです。

「まんまる」の拠点は「いずみ助産院」がある花巻市にあります。花巻から一番遠い支援対象地は久慈市で、花巻・久慈間は往復 360km、運転時間は約 6 時間です。これは東京駅・静岡駅間を往復するのとほぼ同じ距離です。

その走行距離は、一ヶ月で約 980km、一年で 11,760km にもなり、震災からこれまでの走行距離は、約 40,000km に達しました。

被災地での特別なママ達への支援はまだまだ必要なのに、世の中がそれを忘れてしまっただけで健全な母子関係と健全な社会形成どころではなくなってしまふ、それが私たちジェスペールの懸念です。

そんな風潮の中だからこそ、岩手の沿岸部でママ達への支援を継続している「まんまる」の活動はたいへん貴重なものとなっていると思います。私たちは他の地域同様「まんまる」を今後も継続して支援していきたいと考えています。



ジェスペールが支援する地域は東北沿岸部で支援活動をしている助産師たちの大半に及びます。特に、「まんまるサロン」は少人数で広範囲の地域をサポートしており、この活動をできるだけ多くの方々に知っていただき、この広範囲をカバーできる車両を皆さんからのご支援で購入できるようファンドレイジングを行っていきたくと考えております。

今年も引き続き東北沿岸部の被災母子を支援する活動をサポートするジェスペールの活動にご理解ご支援を賜りますよう、皆様をお願い申し上げます。

2014年1月
ジェスペール代表理事
宗 祥子

◆ 被災地で助産師が育児支援を継続するための車を購入しよう！ - 「まんまる」車購入プロジェクトご協力をお願い -
<https://readyfor.jp/projects/tohokumama>

冒頭の宗の年頭のご挨拶でもご紹介しましたが、ジェスペールが支援している団体「まんまる」の活動継続のための車購入プロジェクトを行います。

「まんまる」の活動継続は、岩手県のママ達が安心して子育てできる環境を整備していくためものです。

「まんまる」の母子サロンに参加していたママが、最近は第2子・第3子連れてくることもあるのだとか。「まんまる」の活動は人口増加による被災地の将来への貢献もしています。

今回のプロジェクトは、ジェスペールのHPでの寄付募集ではなく、外部のファンドレイジングサイトである「READYFOR?」により行います。

プロジェクト開始は1月下旬から2月上旬を予定しています。
READYFOR? サイトでご覧いただけます。
皆様、岩手の子育て支援と少子化解消のために、ご支援をお願いします！

READYFOR 支援サイト <https://readyfor.jp/projects/tohokumama>



◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスペールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介ください。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスペールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者： 一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>
Twitter: <https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：info@tohokumama.org
Facebook: <http://www.facebook.com/tohokumama>

